

記入例

(裏)

建築物名称

○△□株式会社 ☆☆☆ビル

年度区分		前年度実績(令和〇〇年4月から令和〇〇年3月まで)			今年度計画(令和〇〇年4月から令和〇〇年3月まで)		対前年度(今年度計画-前年度実績)	
		発生量(A)	処理区分		再利用率	発生量(D)		
種類		再利用率(B)	廃棄量(C)		(B÷A×100)			
		事業系廃棄物	可燃物	紙類	①コピー用紙・OA用紙等	2.10 t	2.10 t	t
②機密文書(一括処理文書)等	1.50 t				1.50 t	t	100 %	1.5
③雑誌・パンフレット・色付き紙	0.50 t				0.50 t	t	100 %	0.4
④新聞紙・折り込みチラシ	1.20 t				1.20 t	t	100 %	1.2
⑤段ボール	0.90 t				0.90 t	t	100 %	0.9
⑥ミックスペーパー・シュレッダー	4.10 t				4.10 t	t	100 %	4.5
⑦その他(紙ごみ等)	1.30 t				t	1.30 t	0.00 %	0.8
紙類小計(①~⑦の計)			11.60 t	10.30 t	1.30 t	88.79 %	11.7	
その他	⑧厨芥(茶殻・残飯等の生ごみ)		2.80 t	1.60 t	1.20 t	57.14 %	2.8	
	⑨木・草・繊維等(①~⑧以外のもの)		0.60 t	t	0.60 t	0.00 %	0.6	
	その他小計(⑧+⑨の計)		3.40 t	1.60 t	1.80 t	47.06 %	3.4	
(a)可燃物合計(①~⑨の合計)			15.00 t	11.90 t	3.10 t	79.33 %	14.5	
不燃・焼却不適物	再利用		⑩飲料用瓶類	0.20 t	0.20 t	t	100 %	0.2
			⑪飲料用缶類	0.70 t	0.70 t	t	100 %	0.7
			⑫ペットボトル	1.50 t	1.50 t	t	100 %	1.5
			⑬食用油	0.20 t	0.20 t	t	100 %	0.2
		⑭弁当ガラ	0.90 t	t	0.90 t	0 %	0.9	
		⑮ その他(廃プラスチック・金属等)	3.50 t	3.50 t	t	100 %	3.0	
(b)不燃・焼却不適物合計(⑩~⑮の合計)		7.00 t	6.10 t	0.90 t	87.14 %	6.5		
⑯(c)特定の事業活動に伴う可燃物		t	t	t	%			
総合計(a)+(b)+(c)		22.00 t	18.00 t	4.00 t	81.82 %	21.0		

【記入要領】

- ① コピー用紙、上質紙、白い紙  
※色付きOA用紙は「③雑誌の欄」に記入。
- ② 年度で一括して廃棄した文書や、機密性の高い書類で通常の廃棄物処理とは別に処理しているもの、シークレットボックス等、箱を丸ごと溶解処理したもの。
- ③ 雑誌、パンフレット、色付きOA用紙、板紙
- ④ 新聞紙及び新聞の折込チラシ
- ⑤ 段ボール
- ⑥ 分別をせずにリサイクルしている紙類全て。メモ用紙、封筒類、シュレッダー屑(リサイクルしている場合)など
- ⑦ リサイクルされずに焼却処分されている紙類。汚れた紙など
- ⑧ 生ごみ  
【生ごみリサイクルの記入例】  
(例1) 100tの生ごみを処理機で20tに減容して、焼却処分している場合は、発生量100t、再利用率80t、廃棄量20tと記入。
- ⑨ 可燃物で、①~⑧以外の物
- ⑩~⑫ ベンダー業者(自動販売機設置業者)が回収する量は計上しない
- ⑬ 厨房などから発生した食用油
- ⑭ 「弁当ガラ」を収集運搬業者との契約品目としている場合は、その量を記入。
- ⑮ 産業廃棄物の「燃え殻」、「汚泥」、「廃油」、「廃酸」、「廃アルカリ」、「廃プラスチック類」、「ゴムくず」、「金属くず」、「ガラスくず」、「鋳さい」、「がれき類」、「ばいじん」の量を記入。
- ⑯ 特定の業の産業廃棄物 木製品製造業等から出る「木くず」、製本・印刷工場等から出る「紙くず」、食品製造業等から出る「動植物製残渣」など

◆廃棄物に区の有料シールを貼付して区収集に出している場合は、下記の換算値を使用して下さい。

シールの種類	換算重量
70リットルシール	13.30kg
45リットルシール	8.55kg
20リットルシール	3.80kg
10リットルシール	1.90kg

備考  
1 数量  
2 臨時